



トラック野郎を リメイクしよう



国立研究開発法人
防災科学技術研究所 特別研究員

島崎 敢

菅原文太さんが亡くなって1年あまりが経ちました。彼は多くの作品を遺しましたが、誰もが知っている代表作といえは「仁義なき戦い」と「トラック野郎」のシリーズでしょう。ここで「トラック野郎」を知らない人のために少しだけ解説をしましょう。「トラック野郎」は主役の星桃次郎(菅原文太)がデコトラ「一番星号」に乗って全国を駆け回り、恋や喧嘩やカーチェイスを繰り返す、ギャグ・アクション・人情などが詰まった東映の映画シリーズです。最盛期には松竹の「男はつらいよ」と同時期に公開され「トラ寅対決」と呼ばれたほどの人気でした。ご年配の方の中には、トラック野郎に憧れてドライバーになった人も少なからずいたはずですよ。

私はそろそろこの映画をリメイクするべき時期にきているな、と考えています。何をバカなことを言い出すのかとお思いでしょうが、けっこうホンキです。少子化が訪れて久しい現代、社会に出る年齢の若者が減少しており、様々な業界で若者を取り合っています。若者は魅力的で収入の多い職業につきたいわけですから、人気のない業界は人手不足に陥ります。そして、残念ながらバス・タクシー・トラックなどのドライバー業界は若者たちからあまり人気がありません。

人気がない理由は何でしょうか。同じように乗り物を動かす電車の運転士、飛行機のパイロット、船舶の船員に比べても、車を運転するドライバーは人気がありません。他の乗り物を動かしている人たちは専門職であり、一般の人が電車や飛行機や船を運転することはありません。一方、車の免許は日本人の3人に2人が持っている、素人のドライバーとプロドライバーが混在しています。みんなが免許を持っているので、ドライバーは誰にでもできる簡単な仕事だと思われがち

なことも人気がない理由かもしれません。しかし実態は全く違います。

バスもタクシーもトラックも、多くの人の生活を支えるライフラインですから雨が降っても雪が降っても走らなければならぬし、高い定時性や安全性を求められます。トラックドライバーには、荷物の性質や積載方法、大きな車を安全に走らせるための知識や技術が必要です。また、色々なサイズの箱を無駄なく荷室に詰め込むための高度な空間構成能力も求められます。タクシードライバーには、乗客の流れを読むための情報収集力や分析能力、渋滞ポイントやビルの裏口の場所などの詳細な地理の知識、そして初対面のお客さんと円滑な会話をするための高いコミュニケーション能力が求められます。バスにはなんとミラーが10枚もついていて、バスドライバーは運行中に料金を受け取ったり、車内放送をしたり、ドアの開け閉めをしたり、車内で転ぶ人が出ないように気を配ったりした上で、時刻表どおりに走る必要があります。こんな高度な仕事は、そこらの素人ドライバーには決してできません。



イラスト・本田敦子

とても楽しい仕事でもありません。基本的には1人でやる仕事なので、煩わしい人間関係はありません。平日の昼間に、春には花を見ながら、秋には紅葉を見ながら色々なところにドライブに行けるのもドライバーの特

権です。そして、お客さんにせよ荷物にせよ、目的地には到着を心待ちにしている人がいます。ドライバーが運んでいるのは単なる荷物や人ではなく、そこに込められた「想い」や人生の「ドラマ」だったりするので。雨の日も風の日も安全・確実に待っている人のもとに大切なものを届ける、ドライバーというのはかっこよくてやりがいのある仕事なのです。元ドライバーの私が言うのだから間違いありません。

だから、プロモーションをうまくやればドライバーはもっとみんながなりたいたい職業になるはずですよ。「スラムダンク」を読んでバスケット部に入る人が増えたり、「海猿」を見て海上保安庁を目指す人が増えたように。そしてかつて、「トラック野郎」に憧れてドライバーになった人がいたように。もちろん、「トラック野郎」をそのままリメイクするのは反対です。当時と現代とは若者の価値観は違うし、ドライバーの労働形態も異なります。現代の子供や若い人に「ドライバーっていいなあ」と思ってもらえるように、現代の価値観に合ったストーリー展開や俳優陣を考える必要があるでしょう。イマドキのイケメン俳優か、あるいは女性ドライバーが主人公でも良いかもしれません。もちろん、トラックが題材でなくても、タクシーやバスでも良いと思います。

ドライバーはカッコイイ仕事だと思ってもらうためには、ドライバーさんたち自身の資質向上ももちろん重要です。これに加えて「トラック野郎」のようなメディアによる後押しを、業界全体で考えた方が良く思うのです。そうすることでドライバー不足が解消され、ドライバーさんたちが今よりもっと誇りを持って働けるようになるのなら、一石二鳥ではないでしょうか。

(しまぎさき・かん)

